

『昭和42年六甲山系豪雨災害から50年』講演会を開催

～近畿地方整備局 六甲砂防事務所～

六甲山系に激甚な被害をもたらした昭和42年7月豪雨災害から50年が経ち「昭和42年災害の凄まじさと次代への継承」、「山麓に広がる都市のまちづくり、防災のあり方」について、地域住民の方々と一緒に考え、土砂災害に対する警戒意識や砂防事業の重要性を改めて認識していただくことを目的に開催しました。

概要

日時：平成29年 7月29日（土）
13時00分～16時00分
場所：兵庫県看護協会「ハーモニーホール」（神戸市中央区）
主催：六甲砂防事務所、兵庫県、神戸市、西宮市、芦屋市、宝塚市
共催：昭和42年六甲山系豪雨災害50年行事実行委員会
参加者：行政機関、地域住民ら約450名が参加



講演会のようす

① 開会式典

主催者挨拶



藤井国交大臣政務官



荒木兵庫県副知事



久元神戸市長

来賓挨拶



盛山法務副大臣



伊藤参議院議員

② 映像上映

『昭和42年災害を振り返る』

昭和42年六甲山系豪雨災害体験者及び当時の行政担当者のインタビューや写真、動画等の映像を上映し、災害を振り返りました。



③ 標語発表

『土砂災害の警戒を怠らないために』

（神戸市立住吉中学校生徒会執行部）

生徒達が作った標語の発表等

- 土砂災害。守ろう。知ろう。伝えよう!
- 土砂災害 油断しないで!
起きないからこそ警戒を!!
- 防ごう災害! 残そう自然! つなげよう未来へ!



住吉中学校による標語発表

④ 講演会

○『土砂災害から命を守るしくみの構築』

～昭和42年六甲山系豪雨災害や
平成7年阪神・淡路大震災から学ぶ～

沖村 孝（神戸大学名誉教授）

○『災害を忘れない』

～災害の体験や思いを記録し、
次世代に伝える～

三上 喜美男（神戸新聞論説委員長）



パネル展も実施

会場の外では、昭和42年7月豪雨災害などのパネル展示や災害時の映像上映を行い、多くの方にご覧いただきました。



パネル展の状況

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局 六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15

TEL：078-851-0535

